



宇美町 旅

歴史ロマンの旅

散策 MAP

緑道(旧国鉄勝田線跡)
九州自動車道
JR香椎線

B 大野城跡へのアクセス
 うみハピネス ●
 うみハピネス入口
 ↓至大野城跡

四季の魅力

MAP 11 宇美公園の桜
3月中旬～4月上旬

宇美八幡宮を望む高台に位置しています。宇美八幡宮の裏から200mほどの所にあり、子安橋、子安新橋で結ばれています。

公園内では、数種類の桜が順番に開花するため、長い期間花見を楽しむことができます。例年、3月下旬～4月上旬頃が桜の見頃となります。

なお、宇美八幡宮の胞衣ヶ浦神楽もあります。

MAP 1 子安祭
4月中旬

子どもの健やかな成長を祈る春の大会として、毎年4月中旬に宇美八幡宮で執り行われます。

この中で、2年に一度、宇美町指定民俗文化財の「御神幸祭」が行われます。御神幸祭は、神輿行列と稚児行列が宇美八幡宮から井野頓宮まで列をなして歩き、到着後神事が執り行われ、再び宇美八幡宮へ帰還するというものです。

MAP 9 極楽寺 オヨド
7月中旬

オヨドとは、7月中旬から下旬にかけて行われる夜祭りのことです。

陣子岳にある極楽寺跡では、鎌倉時代の蒙古襲来(元寇)の際に、宮崎宮の御神体が遷座した縁から、毎年、宮崎宮の宮司をはじめとした神職の方々や参拝され、極楽寺の方々々と交流されています。

MAP 12 旭地藏尊夏祭・子ども神輿
7月中旬

上宇美の伝統行事です。子どもの健やかな成長と厄除けを願うこのお祭りでは、法被を着た子どもたちが神輿を担ぎ、上宇美を出発し、宇美八幡宮、宇美駅周辺を周ります。夏の始まりを感じる行事です。

MAP 1 夏越祭
7月31日

7月31日の夕刻から執り行われます。この祭りでは、御神門に茅でつくられた大茅の輪が取り付けられ、茅の輪くぐりが行われます。茅の輪くぐりを行うと、厄が殺われ、健康に思われるといわれています。

MAP 13 盆綱引き
8月15日

盆綱引きは、県内各地で行われている伝統行事です。宇美町内では、いくつかの自治会で、8月15日の精霊送りの前に行われています。その一つ、原田上の盆綱引きでは、カズラで結び付けたロープを使用しており、昔の名残を残しています。子どもから大人までが参加し、地域のつながりを深める伝統行事となっています。

MAP 1 放生会
10月15・16日

毎年10月15日と16日に宇美八幡宮で執り行われます。放生会は、生きとし生けるすべてのものを慈しみ、自然の恵みに感謝するお祭りであり、秋の大祭であることから、五穀豊穡を祝う意味もあります。

宇美神楽が奉納される(15日夕刻)他、参道では露店が並び、境内裏では、宇美町商工会による商まつりも同時開催され、多くの人々で賑わいをみせます。

MAP 7 四王寺山の紅葉
11月中旬～下旬

11月中旬から下旬に見頃を迎えます。宇美町からの車道では、紅葉の並木が連なる絶好のスポットになっています。特に、百間石垣付近の妙音の滝で見られる紅葉は、おすすめです。

四王寺県民の森では、大野城跡巡りとともに四季の彩りを楽しむことができます。

MAP 14 四王寺毘沙門詣り
1月3日

1月3日の早朝から午前中にかけて行われる伝統行事です。

このお詣りでは、お堂の前に置かれた賽銭台からお賽銭を借りて帰り、翌年は借りたお賽銭の倍の額を返し、またお賽銭を借りて帰るということを繰り返しています。これを行うことで1年間お金に困らず幸運に恵まれると伝えられています。

MAP 15 河原谷の大つらら
1月末～2月初旬

1月末から2月初旬頃に見ることが出来る冬の風物詩です。普段は湿ですが、寒気が強まる時期が続くと、岩から染み出した水や雪融水が岩肌をつたいながら凍って水結し、高さ20mほどの見事な大つららができます。壮大な氷の彫刻を一目見ようと、多くの人々が訪れます。

なお、見学の際は、防寒対策やアイゼンなどの十分な装備が必要です。